

車上ねらい

手口と現状

本県における令和3年中の車上ねらいの被害は、360件で、前年に比べて165件(31.4%)減少しました。このうち約6割が鍵を掛けずに被害に遭っています。また、被害品ではバッグ・財布類が最も多く、携帯電話機や通帳、保険証なども被害に遭っています。

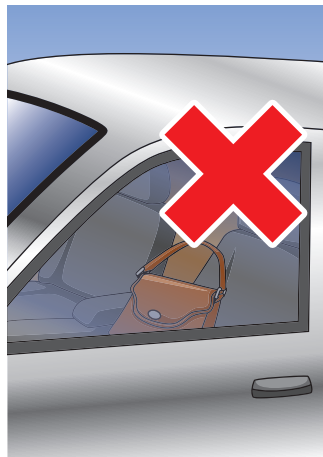
発生場所別では、自宅駐車場・店舗駐車場・道路上で多発しています。その他、空き地や学校でも発生しています。その多くは人通りの少ない道路やひと気の無い駐車場に止められた車が被害に遭っています。

被害に遭わないために

- 車から離れるときは、短時間でも窓を確実に閉めドアをロックする。
- スペアキーを車体に取り付けたままにしない。

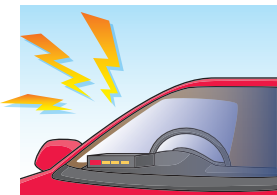
- 監視の行き届いた駐車場を利用し、路上駐車しない。また、夜間は明るい場所に駐車する。

- 貴重品、現金、バッグ類を車内に置いたままにしない。



犯人は、「バッグの中には現金が入っている」と思い、ガラスを割って盗みます。車内に置いたままにしないようにしましょう。

- 「音と光」を出すセキュリティ機器（盗難防止警報装置）などを車に取り付け、万一の時、犯行を諦めさせる。



被害に遭ってしまったら

- 警察に被害届を出す前には、なるべく車内に触れないようにする。

- クレジットカードなどが盗まれた場合は、カード会社への連絡を行う。（24時間可）

- 盗難保険で対応する場合は、契約保険会社などに連絡して指示を受ける。

- 窓ガラスなどが壊された場合、ガラス片が車内に散らばっているので不用意に乗り込まない。

- 不審な人を見かけた場合は、一人で対応せず近くの人に協力を求めるなどし、不審者の人相や特徴、逃走車両の車種・車両ナンバー・塗色等を警察に通報する。

